

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 2020年6月12日

【四半期会計期間】 第89期第2四半期(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

【会社名】 株式会社ミロク

【英訳名】 Miroku Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 弥 勒 美 彦

【本店の所在の場所】 高知県南国市篠原537番地1

【電話番号】 088(863)3310(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部本部長 古 味 俊 雄

【最寄りの連絡場所】 高知県南国市篠原537番地1

【電話番号】 088(863)3310(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部本部長 古 味 俊 雄

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第88期 第2四半期 連結累計期間	第89期 第2四半期 連結累計期間	第88期
会計期間		自 2018年11月1日 至 2019年4月30日	自 2019年11月1日 至 2020年4月30日	自 2018年11月1日 至 2019年10月31日
売上高	(千円)	7,569,480	7,161,874	15,368,111
経常利益	(千円)	761,273	524,877	1,269,572
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	565,451	294,384	938,895
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	614,529	215,132	975,401
純資産額	(千円)	13,143,349	13,653,702	13,514,027
総資産額	(千円)	17,669,605	17,376,918	17,355,802
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	194.64	99.77	322.41
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	74.4	78.6	77.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	791,125	571,577	1,529,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	245,037	463,654	564,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	224,269	175,723	366,855
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,026,148	2,781,657	2,851,110

回次		第88期 第2四半期 連結会計期間	第89期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年2月1日 至 2019年4月30日	自 2020年2月1日 至 2020年4月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	66.60	61.85

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある以下の事項が発生しております。

なお、文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、主力三事業において一部受注減の影響が出始めており、当該経営環境が長期化した場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期初において企業収益や雇用情勢の改善が進み緩やかな回復基調が続いておりましたが、その後新型コロナウイルス感染拡大の影響により、厳しい局面を迎えております。一方海外情勢においても、景気は緩やかに回復していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により経済活動が抑制され、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

財政状態

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて21,115千円増加し、17,376,918千円となりました。

主な要因は、投資有価証券が199,567千円減少したものの、機械装置及び運搬具が246,800千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて118,558千円減少し、3,723,216千円となりました。

主な要因は、短期借入金が100,000千円、役員賞与引当金が26,945千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて139,674千円増加し、13,653,702千円となりました。

主な要因は、その他有価証券評価差額金が76,441千円減少したものの、利益剰余金が219,326千円増加したこと等によるものであります。

経営成績

当第2四半期連結累計期間の売上高は7,161,874千円(前年同期比5.4%減)、経常利益は524,877千円(前年同期比31.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は294,384千円(前年同期比47.9%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

a 猟銃事業

主力製品である上下二連銃につきましては、販売数量は前年同期を若干下回りましたが、高価格製品の割合が高く、売上高は前年同期を上回りました。同じく主力製品であるボルトアクションライフルにつきましては、販売数量・売上高ともに前年同期を上回りました。そのため、猟銃事業全体としての売上高は前年同期を上回りましたが、利益につきましては、生産能力増強及び新製品開発のための費用等が引き続き増えていることにより前年同期を下回りました。その結果、売上高は4,034,419千円(前年同期比4.9%増)、セグメント利益(営業利益)は374,694千円(前年同期比12.5%減)となりました。

b 工作機械事業

主力三部門の売上高及び販売数量は前年同期と比べ低調に推移しました。機械部門は、一定の受注残を確保しているものの、販売台数及び高価格製品は、高水準であった前年同期と比べ減少し、また、ツール部門の販売数量も伸びなかったことから、売上高及び利益とも前年同期を下回りました。その結果、売上高は1,188,997千円(前年同期比23.6%減)、セグメント利益(営業利益)は212,463千円(前年同期比45.9%減)となりました。なお、売上高につきましては、セグメント間の内部売上高60,046千円を含んでおります。

c 自動車関連事業

販売数量において、主力の木製ステアリングハンドルの販売が前年同期を下回ったため、売上高及び利益とも前年同期比で減少しております。その結果、売上高は1,996,818千円(前年同期比8.0%減)、セグメント利益(営業利益)は1,436千円(前年同期比38.1%減)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて69,453千円減少し、2,781,657千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は571,577千円(前年同期は791,125千円の収入)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益445,244千円、減価償却費306,879千円、売上債権の減少額171,561千円等であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額92,265千円、法人税等の支払額277,770千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は463,654千円(前年同期は245,037千円の支出)となりました。

これは、主に利息及び配当金の受取額31,610千円、有形固定資産の取得による支出461,327千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は175,723千円(前年同期は224,269千円の収入)となりました。

これは、主に短期借入金の返済による支出100,000千円、配当金の支払額75,058千円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は7,444千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年4月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年6月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,005,441	3,005,441	東京証券取引所 (市場第2部)	単元株式数は100株 であります。
計	3,005,441	3,005,441		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年2月1日～ 2020年4月30日		3,005,441		863,126		515,444

(5) 【大株主の状況】

2020年4月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
MLPFS CUSTODY ACCOUNT (常任代理人 メリルリンチ日本証券株式会社)	THE CORPORATION TRUST COMPANY CORPORATION TRUST CENTER 1209 ORANGE ST WILMINGTON DELAWARE USA	340	11.36
株式会社ミロク興産	高知県高知市稲荷町120	199	6.65
損害保険ジャパン株式会社	東京都新宿区西新宿1丁目26-1	157	5.26
株式会社四国銀行	高知県高知市南はりまや町1丁目1-1	142	4.73
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A.	138	4.60
株式会社高知銀行	高知県高知市堺町2-24	133	4.44
株式会社西島製作所	大阪府高槻市宮田町1丁目1番8号	115	3.84
ミロク共栄会	高知県南国市篠原537-1	99	3.32
日油株式会社	東京都渋谷区恵比寿4丁目20-3	98	3.27
井上特殊鋼株式会社	大阪府大阪市西区新町1丁目33-8	98	3.27
計		1,523	50.73

- (注) 1. 第1順位のMLPFS CUSTODY ACCOUNT(名義人)の所有株として記載した340千株は、ブローニング・アームズ・カンパニーが実質株主として所有しております。
2. 第8順位のミロク共栄会は、当社グループの取引先企業(18社)が会員となり、定期的に株式を購入している持株会であります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年4月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,300		単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,987,300	29,873	単元株式数 100株
単元未満株式	普通株式 14,841		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	3,005,441		
総株主の議決権		29,873	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式18株が含まれております。

【自己株式等】

2020年4月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(自己保有株式) 株)ミロク	高知県南国市篠原537-1	3,300		3,300	0.11
計		3,300		3,300	0.11

(注) 当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(自己株式等)」欄の普通株式に含めております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役職名	氏名	退任年月日
取締役(非常勤)	安岡 憲祐	2020年2月6日 (逝去による退任)

(2) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性10名 女性 名 (役員のうち女性の比率 %)

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年2月1日から2020年4月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年11月1日から2020年4月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,851,110	2,781,657
受取手形及び売掛金	2,064,657	1,893,095
たな卸資産	¹ 3,939,079	¹ 4,031,345
その他	267,451	333,149
貸倒引当金	173	154
流動資産合計	9,122,124	9,039,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,456,866	1,435,353
機械装置及び運搬具(純額)	1,505,482	1,752,283
土地	1,687,995	1,687,995
その他(純額)	139,671	190,277
有形固定資産合計	4,790,017	5,065,910
無形固定資産	63,366	82,363
投資その他の資産		
投資有価証券	2,767,381	2,567,814
その他	625,892	634,918
貸倒引当金	12,980	13,180
投資その他の資産合計	3,380,293	3,189,552
固定資産合計	8,233,677	8,337,825
資産合計	17,355,802	17,376,918

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,083,962	1,125,387
短期借入金	100,000	
1年内返済予定の長期借入金		200,000
未払法人税等	186,097	167,603
賞与引当金	156,798	358,585
役員賞与引当金	39,292	12,346
その他	818,196	649,237
流動負債合計	2,384,346	2,513,160
固定負債		
長期借入金	400,000	200,000
役員退職慰労引当金	166,311	176,230
退職給付に係る負債	637,288	623,644
その他	253,827	210,180
固定負債合計	1,457,428	1,210,055
負債合計	3,841,774	3,723,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	553,778	553,778
利益剰余金	11,617,351	11,836,677
自己株式	30,264	30,664
株主資本合計	13,003,992	13,222,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480,595	404,154
為替換算調整勘定	29,438	26,628
その他の包括利益累計額合計	510,034	430,783
純資産合計	13,514,027	13,653,702
負債純資産合計	17,355,802	17,376,918

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年4月30日)
売上高	7,569,480	7,161,874
売上原価	6,279,795	6,114,777
売上総利益	1,289,684	1,047,096
販売費及び一般管理費	1 591,911	1 583,911
営業利益	697,773	463,185
営業外収益		
受取配当金	12,262	12,884
持分法による投資利益	17,469	20,736
その他	36,146	28,832
営業外収益合計	65,879	62,453
営業外費用		
支払利息	1,536	265
その他	842	496
営業外費用合計	2,378	761
経常利益	761,273	524,877
特別利益		
受取保険金	95,732	4,363
補助金収入	2,664	7,397
特別利益合計	98,397	11,760
特別損失		
固定資産除却損	2,382	1,803
投資有価証券評価損		89,588
特別損失合計	2,382	91,392
税金等調整前四半期純利益	857,287	445,244
法人税等	291,836	150,860
四半期純利益	565,451	294,384
親会社株主に帰属する四半期純利益	565,451	294,384

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益	565,451	294,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,893	78,312
為替換算調整勘定	1,151	1,685
持分法適用会社に対する持分相当額	17,663	745
その他の包括利益合計	49,078	79,251
四半期包括利益	614,529	215,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	614,529	215,132

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	857,287	445,244
減価償却費	272,938	306,879
貸倒引当金の増減額(は減少)	324	180
受取利息及び受取配当金	12,266	12,885
持分法による投資損益(は益)	17,469	20,736
支払利息	1,536	265
受取保険金	95,732	4,363
補助金収入	2,664	7,397
投資有価証券評価損益(は益)		89,588
売上債権の増減額(は増加)	4,779	171,561
たな卸資産の増減額(は増加)	353,265	92,265
仕入債務の増減額(は減少)	154,879	41,397
賞与引当金の増減額(は減少)	275,289	201,786
役員賞与引当金の増減額(は減少)	19,226	26,945
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	42,483	13,644
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,796	9,918
その他	118,107	306,256
小計	984,373	782,327
助成金の受取額	1,164	3,039
保険金の受取額	95,732	4,363
補助金の受取額	2,664	7,397
法人税等の支払額	339,364	277,770
法人税等の還付額	46,553	52,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	791,125	571,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	317,402	461,327
無形固定資産の取得による支出	3,955	30,150
利息及び配当金の受取額	31,041	31,610
保険積立金の払戻による収入	48,564	
その他	3,284	3,786
投資活動によるキャッシュ・フロー	245,037	463,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	100,000
長期借入れによる収入	400,000	
配当金の支払額	73,913	75,058
利息の支払額	1,536	265
その他	281	400
財務活動によるキャッシュ・フロー	224,269	175,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,152	1,653
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	769,204	69,453
現金及び現金同等物の期首残高	2,256,943	2,851,110
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,026,148	1 2,781,657

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
商品及び製品	416,772千円	478,597千円
仕掛品	1,258,889 "	1,355,046 "
原材料及び貯蔵品	2,263,417 "	2,197,701 "

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
役員報酬	60,130千円	66,890千円
給料手当	171,596 "	164,989 "
賞与引当金繰入額	67,123 "	51,754 "
役員賞与引当金繰入額	12,585 "	12,346 "
役員退職慰労引当金繰入額	10,140 "	12,154 "
退職給付費用	14,605 "	13,226 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
現金及び預金	3,026,148 千円	2,781,657 千円
現金及び現金同等物	3,026,148 千円	2,781,657 千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月7日 取締役会	普通株式	73,913	25.00	2018年10月31日	2019年1月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月7日 取締役会	普通株式	73,909	25.00	2019年4月30日	2019年7月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月6日 取締役会	普通株式	75,058	25.00	2019年10月31日	2020年1月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月9日 取締役会	普通株式	75,053	25.00	2020年4月30日	2020年7月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,845,544	1,549,696	2,170,982	7,566,222	3,258	7,569,480		7,569,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高		5,599		5,599		5,599	5,599	
計	3,845,544	1,555,295	2,170,982	7,571,821	3,258	7,575,079	5,599	7,569,480
セグメント利益 又は損失()	428,370	392,473	2,319	823,162	2,098	821,064	123,291	697,773

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失()の調整額 123,291千円には、セグメント間取引消去2,301千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 125,592千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。
3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,034,419	1,128,950	1,996,818	7,160,188	1,686	7,161,874		7,161,874
セグメント間の内部 売上高又は振替高		60,046		60,046		60,046	60,046	
計	4,034,419	1,188,997	1,996,818	7,220,234	1,686	7,221,920	60,046	7,161,874
セグメント利益	374,694	212,463	1,436	588,594	635	589,229	126,043	463,185

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 126,043千円には、セグメント間取引消去 6,010千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 120,033千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり四半期純利益金額	194円64銭	99円77銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	565,451	294,384
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	565,451	294,384
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,905	2,950

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第89期(2019年11月1日から2020年10月31日まで)中間配当については、2020年6月9日開催の取締役会において、2020年4月30日の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	75,053千円
1株当たりの金額	25円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年7月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年6月10日

株式会社ミロク
取締役会御中

有限責任監査法人 トー マ ツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 久保 誉 一

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 田 秀 樹

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミロクの2019年11月1日から2020年10月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年2月1日から2020年4月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年11月1日から2020年4月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミロク及び連結子会社の2020年4月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。